

事務事業名	林地崩壊防止事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総 計 画 体 系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	農林道G	課長名	宮川 勝
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	山本 大策	電話番号	0854-40-1053
	目的:対 象:市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。	(内線)	2403	
	基本事業名	〈046〉防災施設の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 1 項 目 中事業 中事業 1 0 4 0 0 1	事業名	林地崩壊防止事業
目的:対 象:市民	意図	被害にあわない、被害が拡大しない。		事業名	林地崩壊防止事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠 事業費は100万円以上 地元負担は10%・12.5%・15%のいずれか(世帯の所得状況による) 補助率は 住民税非課税世帯が事業費の1/2、世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満が(事業費-100万円)×1/2、世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上が(事業費-200万円)×1/2 H29年度 負担率10%:6か所、12.5%:6か所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 現場確認、申請業務 7箇所  復旧工事(現年分)1箇所 復旧工事(繰越分)1箇所	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 災害が発生したら取組む。  復旧工事(繰越分)6箇所				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 事業費(現年)	千円	28,545	660	12,857	4,000
	イ 事業費(繰越)	千円	26,682	42,384	5,610	39,000
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	被災箇所	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 申請箇所数	箇所	11	1	7	0
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	被災箇所を復旧する	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 完了箇所数(現年)	箇所	6	0	1	0
			イ 完了箇所数(繰越)	箇所	6	5	1	6
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
【繰越(R元災)】1箇所 工事費:5,610千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
【現年(R2災)】7箇所(繰越6箇所) 委託費:4,081千円 工事費:8,776千円 計:12,857千円 合計:18,467千円 ※地方債:R元繰...一般単独 R2...緊急自然災害		県支出金	千円	23,973	19,672	9,215	18,973
		地方債	千円	25,400	18,000	8,100	17,800
		その他	千円	5,648	5,243	1,111	6,156
		一般財源	千円	206	129	41	71
		事業費計(A)	千円	55,227	43,044	18,467	43,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	700	200	220	
		人件費計(B)	千円	3,032	848	926	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	58,259	43,892	19,393	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
特になし	特になし	二次被害等危険があるため、早期復旧の要望がある。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	基準に基づく計画及び復旧をしており向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	受益者が全てを負担しての復旧になり負担が重くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    *ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる    (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	人家裏山の崩壊に対する復旧事業はこれのみである。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	申請により対応している。受益機会は均等である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事が多くなる。早期復旧に努め、生活の安全が確保された。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

### 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。	<p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					